（別紙６）

［認知症対応型共同生活介護用］

# １．　評 価 結 果 概 要 表

作成日　平成19年8月3日

【評価実施概要】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業所番号 | 0972300677 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人都賀の里 | | |
| 事業所名 | グループホーム藤糸 | | |
| 所在地 | 栃木県下都賀郡都賀町臼久保298－5<br>（電　話）0282-92-0039 | | |
| 評価機関名 | 社会福祉法人栃木県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 栃木県宇都宮市若草1－10－6 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年7月5日 | 評価確定日 | 平成19年8月3日 |

【情報提供票より】（平成19年6月1日事業所記入）

（１）組織概要

| | | |
|---|---|---|
| 開設年月日 | 平成15年5月1日 | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計　18　人 |
| 職員数 | 10 人<br>8 人 | 常勤9人(うち兼任1人),非常勤2人,常勤換算9人<br>常勤8人(うち兼任1人),非常勤0人,常勤換算7人 |

（２）建物概要

| | |
|---|---|
| 建物構造 | 木造 |
| | 1階建ての1階部分 |

（３）利用料金等（介護保険自己負担分を除く）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 家賃（平均月額） | 9,200 円 | その他の経費（月額） | ・管理費　5,800円<br>・日用品費及び事務費　10,000円<br>・共益費　8,000円<br>・おむつ代(使用した場合)実費<br>・理美容代(使用した場合) 実費 |
| 敷　　金 | 無 | | |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 無 | 有りの場合<br>償却の有無 | ー |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 食材料費 | 朝食 | 300 円 | 昼食 | 300 円 |
| | 夕食 | 400 円 | おやつ | 100 円 |
| | または1日当たり | 円 | | |

（４）利用者の概要（平成19年6月1日現在　）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 利用者人数 | | 18 名 | 男性 | 3 名 | 女性　15 名 |
| 要介護１ | | 3 名 | 要介護２ | 4 名 | |
| 要介護３ | | 7 名 | 要介護４ | 3 名 | |
| 要介護５ | | 1 名 | 要支援２ | 名 | |
| 年齢 | 平均 | 84.1 歳 | 最低 | 66 歳 | 最高　91 歳 |

（５）協力医療機関

| | |
|---|---|
| 協力医療機関名 | 医療法人社団慈厚会　船越医院 |

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

小高い山のふもとで鳥の声や四季の自然を満喫できる、のどかな場所にこのホームは位置する。敷地内には、ホームの他にデイサービスセンターや認知症対応型デイサービスセンター、知的障害者入所施設等、法人で運営している施設が隣接している。理念にある「自然」という言葉の中には、環境や生活、入居者のペースを尊重した質の高いケアといったことが含まれ、それらの実践に努めているホームである。庭にはベンチや園芸セット、バーベキューセット等も用意され、室内・室外でもくつろげるよう、いたる所に細やかな配慮がされている。その土地の方言や表現を尊重しながら、その日一日を「丁寧に」過ごしているホームである。

【重点項目への取組状況】

| | |
|---|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況（関連項目：外部4） |
| | 前回は中廊下に物を置いてスペースを十分に活用できていなかったが、現在ではソファーのみを置くことにより、入居者が自由にくつろげるスペースとなっている。また、転倒防止のために敷かれたカバーも工夫され、つまづく危険性が解消された。 |
| | 今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4） |
| | 今回の自己評価は、職員一人ひとりが取り組み、日々のケアの振り返りの機会として活用している。また、評価を常に質の向上を目指していく姿勢の確認として全職員が捉えている。 |
| 重点項目② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5，6） |
| | 運営推進会議は、現在のところ開催されていないが、家族会の発足を検討したり、町や自治会等、運営推進会議の参加者の選定の検討と呼びかけを行っている。 |
| 重点項目③ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8） |
| | 積極的に家族からの意見を聞きだす取り組みがされており、疎遠になりがちな家族に対しては、ホームから電話をして入居者の近況を報告したり家族からの情報収集に努めている。申し送りや会議の際に話し合いを行い、運営に反映している。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携（関連項目：外部3） |
| | ほとんど民家が無い場所で人の行き来が困難であるが、積極的に外出することで地域の方との連携を図ろうとしている。また、同敷地にあるデイサービスセンターにも入居者の馴染みの方がいるため、自由に交流ができる体制にしている。 |

# 2.　評 価 結 果 （詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項　　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組みを期待したい項目） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **Ⅰ．理念に基づく運営** | | | | | |
| **1．理念と共有** | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念<br><br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 「自然に」という言葉の意味に深さがあり、環境づくりだけではなく、農業を中心とした生活を送っていた方が多いことを踏まえて、本人のその人らしい暮らしを支える配慮がこと細やかに行われている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み<br><br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 管理者と職員は「自然の中での暮らし」を大切にしながら、管理者は職員の手が回らない草刈りや環境整備等も積極的に行い、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。 | | |
| **2．地域との支えあい** | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい<br><br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 周りに民家がほとんど無い環境にあるが、近隣にある公園に出かけたりといった取り組みがされている。ホームで作成した新聞を自治会に配布することも検討されたが、家族からの意見もあり、実施には至っていない。 | ○ | 入居者がホームを利用していることへの理解が不十分な地域性や民家がほとんどない立地条件であるが、地域の方の理解を促す意味があるため、今後も積極的に地域の人との交流が出来るような機会づくりを継続していくよう期待したい。 |
| **3．理念を実践するための制度の理解と活用** | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用<br><br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 職員一人ひとりに、自己評価をしてもらい、日々のケアを振り返る機会として活用している。また、前回の反省を基に、課題であった敷地をコンクリートで整備し、中廊下を通りやすくする改善がなされている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項　　目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容) | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は、まだ開催されていない。現時点では、町職員・家族と開催に向けた検討をしており、ケアに影響の少ない19時からの1時間程度で話し合いをしている。 | ○ | 地域包括支援センターに職員を派遣しており、町の福祉サービスを法人が担っている状況である。運営推進会議に参加していただく方・機関との話し合いを継続していきながら、早急に開催できるよう期待したい。 |
| 6 | 9 | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 町の福祉サービスを同法人が担って各施設を運営している状況である。そのため、町との連携が取れており、少しずつではあるが、町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。 | | |
| **4. 理念を実践するための体制** | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | ホームで月1回新聞を作成して家族に定期的に配布している。写真を多くすることによって、その方の日々の生活が具体的に分るよう工夫されており、家族からも好評である。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族等からの意見が自由に言えるような雰囲気づくりに配慮している。疎遠になりがちな家族に対しては、ホームから電話をかける等の配慮をしながら、家族等の意見を運営に反映させている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の性格や特徴も把握しながら、ユニット間での異動や隣接しているデイサービスセンターからの異動を行っており、入居者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項　　目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容) | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|---|---|---|---|
| **5. 人材の育成と支援** | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部研修である認知症介護実践研修の実践者研修はすべての職員が受けられるように配慮をしている。また、月1回の会議では、勉強会としての要素も取り入れており、日々の助言も含めて、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br><br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 近隣の同業者には、機会をみて声かけを行っているが、ネットワークは確立できていない。ネットワークを通してのサービスの質の向上は常に考えているものの、具体的な活動にまでは至っていない。 | ○ | ホーム独自での取り組みは困難であると思われるが、法人全体としての活動の一環として近隣の同業者とのネットワークづくりを検討することも期待したい。 |
| **Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援** | | | | | |
| **1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応** | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 法人内のデイサービスからの移行のような形で、日中のみの生活を十分に繰り返しながら利用できる工夫がされている。また、家族も居室に一緒に宿泊したり、体験としての短期間の宿泊も行い、入居者が徐々に馴染めるような取り組みを家族と相談しながら行っている。 | | |
| **2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援** | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 言葉かけを積極的に行いながら、入居者の昔の経験等を聞き出したり、昔の年中行事のしきたり等も教えてもらったりと、共に支えあう関係を築いている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項　　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組みを期待したい項目） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | | | |
| **１．一人ひとりの把握** | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握<br><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 「（希望に）応じるのが当たり前」であると職員全員が認識しており、希望に添った暮らし方を支援し、また行動、自由を束縛しないよう、職員間でも確認をしながら、本人本位に検討している。 | | |
| **２．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し** | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br><br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している | 毎月第2月曜日の19時から21時に職員全員が参加する会議を開催しており、職員全員が日々の気づき等を自由に発言し合う機会となっている。そこで出た意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br><br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 計画作成担当者も日々のケアに参加しており、書面では表現しきれない内容も、日々のケアの中で全職員に指示ができる体制となっている。随時の見直しも行われており、現状に即した計画を作成している。 | | |
| **３．多機能性を活かした柔軟な支援** | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 「蛍を見せたい」という家族の意向を大切に受け止め、21時過ぎに家族が訪問することもあり、本人や家族の状況や要望に対して柔軟な支援を行っている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項　　目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容) | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|---|---|---|---|
| **4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働** | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br><br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 協力医は月2回定期的な診察を行っており、かかりつけ医がいる場合は、距離に応じて家族に送迎の協力を得ながら、適切な医療を受けられるように支援している。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br><br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 医療行為が頻繁になる限界まで受け入れていく体制となっている。医療に対しての理解は職員全体で高めており、職員全員で方針を共有できるような配慮を徹底している。 | | |
| **Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援** | | | | | |
| **1. その人らしい暮らしの支援** | | | | | |
| **(1)一人ひとりの尊重** | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 入居者が不快に感じないような言葉かけを徹底しており、一人ひとりの個性を尊重した対応をしている。また、個人情報の取り扱いにも十分配慮をしている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居者の行動を抑制するような言葉づかいをしないように職員間でも注意し合いながら、一人ひとりのペースを大切にし、その日一日が充実したものとなるよう、希望に添って支援している。また、塗り絵や雑誌、折り紙なども自由に取り出せるように工夫している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項　　目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容) | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|---|---|---|---|
| **(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援** | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 入居者の好みや季節に合わせた献立としており、今ある食材の中で変更が可能であり、調理後に献立ができ上がる、という仕組みとなっている。準備や味見、片付け等に入居者が自然に参加している。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 週2回程度は入浴して欲しいと考えているが、無理強いすることなく、さり気なく誘導している。入浴は16時から夜にかけて利用できるようになっており、入浴剤を使用するなど、入浴時間がリラックスできる時間になるよう支援をしている。 | | |
| | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 雑誌や折り紙、園芸用品など、入居者が自由に取り出せるようになっている。また、そばの産地でもあるため入居者がそば打ちをしたり、花見等の季節に合った企画をして楽しみごとの支援をしている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 敷地が広いため、その範囲で自由に外に出ることができ、外に出る際は必ず職員が付き添う体制となっている。また、日々の買い物に誘ったり、ユニット毎の外出等で希望にそった外出ができるように支援している。 | | |
| **(4)安心と安全を支える支援** | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | ホーム内でも職員が十分な見守りを徹底しており、また、同敷地にある法人施設でも気にかけている体制があり、日中は全く鍵をかけることがなく、鍵をかけないケアの実践をしている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項　　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | ○印<br>（取り組みを期待したい項目） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 27 | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 消防計画に基づき年1回の消防署の査察を受けている。ホーム内では全居室に掃きだし窓があり、避難経路の確保も徹底している。 | ○ | 入居者にも訓練に参加してもらったり、地域の協力も含めて、いざというときの体制づくりを検討することを期待したい。 |
| **（5）その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援** | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事・水分摂取量のチェック表を活用しており、医師との連携を重視したチェック項目かつ簡素化を十分検討したチェック表となっている。また、入居者一人ひとりの状態等に応じた支援を行っている。 | | |
| **2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり** | | | | | |
| **（1）居心地のよい環境づくり** | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | リビングには目隠しとなる壁も設置しており、中庭には草花や竹が植えられており、四季を楽しむことができる。トイレや浴室等も十分に換気を行い、臭いの対策にも十分配慮をしている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居者の希望により畳を敷き布団を利用できるようになっている。また、使い慣れた家具や置物も持込が自由となっており、家族の写真などを飾るなどして、明るい雰囲気づくりをしている。 | | |

※ ▒ は、重点項目。

※ ＷＡＭＮＥＴに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式１）を添付すること。